

静岡総鉄で尻手線ハンドル訓練始まる！

東海支社から11月18日付で南武線（尻手短絡線）の線見、ハンドル訓練の教育訓練の通達がきました。

区間は川崎新町～割畑の3.5km区間で、静岡総鉄指導員が12月9日又は13日に関東支社指導員から机上教育（線区映像ビデオ・信号・線路関係・異常時取扱い・確認テスト等）を受け、線見を同日に1往復し、その後ハンドル訓練2往復を後日実施。（日程は関東支社と調整中）

静岡総鉄運転士には、来年1月より超勤2時間対応で指導員と同じ訓練を受けたのち、後日線見1往復・ハンドル訓練2往復が実施されます。2020年3月の次期ダイヤ改正に組み込むためにも、指導員+運転士24名の育成を進めて行くようです。

（↓ハンドル訓練用行路）

地行日	作業番号	東京	新川崎	静岡貨物	東静岡
出勤 8:28	臨日 999				
退勤 2:40		13:50	13:09	13:05	9:10
労働時間 12:48		15:10	15:41	EF65	
		17:33	17:06	EF65	
		22:12	22:41	EF64	
		0:22	便1099		2:25

（↓線見用行路）

地行日	作業番号	東京	新川崎	静岡貨物	東静岡
出勤 8:28	臨日 998				
退勤 19:55		13:50	13:09	13:05	9:10
労働時間 10:44		15:10	15:41	EF65	
		18:20			19:33

※尚、入区・出区は新鶴見・大井機関区の乗務員が担当し、便乗として同列車に乗務。

会社は『BCP対策強化を趣旨に災害発生時等における対応能力向上のため・・・』と難しいことを言っていますが、単なる効率化のための育成であり、今年のダイヤ改正では、SRC&HDの2つの運転資格を静岡総鉄の乗務員が全員持っていない中で定期交番に組み込む等、が行われました。今回は関東地区における乗務員の要員需給の関係かもしれませんが、会社は何かと理由をつけ効率化を図ってきます。

今からでも遅くはありません。おかしいことは『おかしい!!!』と発言しても良いのではないのでしょうか？ 今一度、みなさんの声を会社にぶつけていきましょう!!!

分からないこと、疑問に思うことはお近くの国労組合員に声を掛けてみて下さい。

※BCP対策・事業継続計画と訳され、重要業務を中断させないための備えという意味。